急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI） 病原体サーベイランス検査結果 その１

【目的】 ARI病原体サーベイランスは、将来的なARIのパンデミックに備えることを目的として、令和7年4月7日から実施しています。
具体的な目的は以下の2つです。

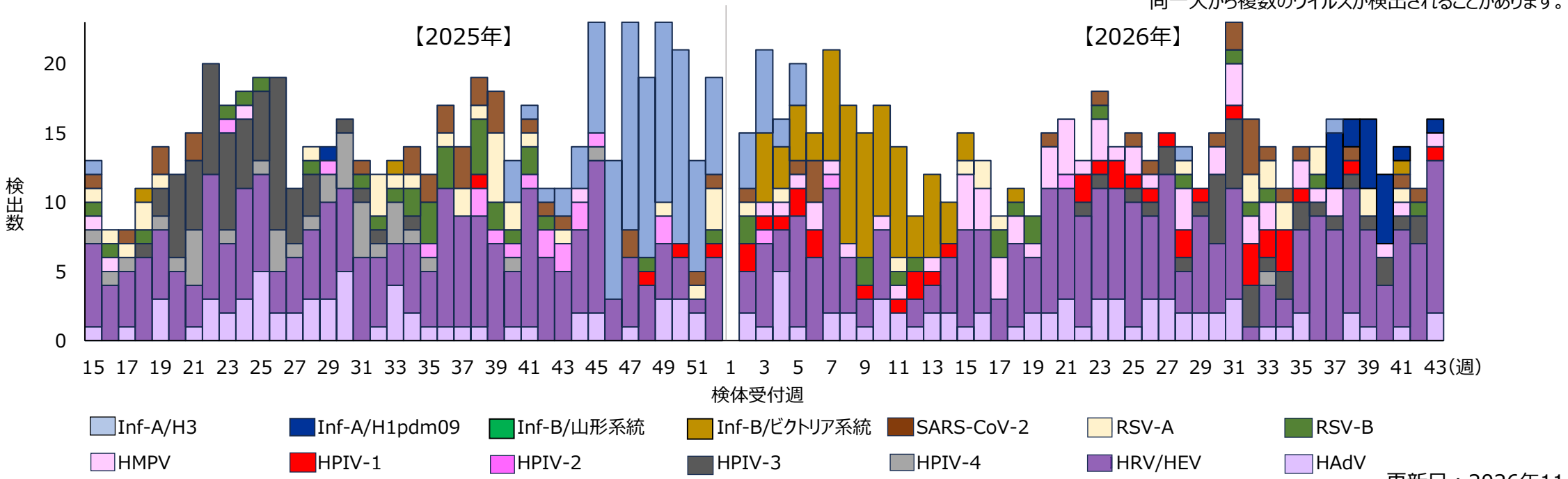
① 流行しているARIの発生動向を把握すること
② 未知の呼吸器感染症が発生し増加した場合に、迅速に探知すること

【対象】 石川県内5か所（小児科3か所、内科2か所）の医療機関（ARI病原体定点）にて、週に1回、特定の日に、ARI患者と診断されたはじめの5人から検体を採取します。これらについて、国立感染症研究所が指定した７種類※のウイルスに対するリアルタイムPCRを実施しています。

※インフルエンザウイルス(Inf)、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)、RSウイルス(RSV)、ヒトメタニューモウイルス(HMPV)、パラインフルエンザウイルス(HPIV)、ライノウイルス/エンテロウイルス(HRV/HEV)、アデノウイルス(HAdV)

【結果】 ① 病原体別検出数（2025年第15週～2026年第43週）
2026年第43週は、インフルエンザウイルスA型/H1pdm09、ヒトメタニューモウイルス、パラインフルエンザウイルス1型が検出されています。

同一人から複数のウイルスが検出されることがあります。



更新日：2026年11月4日

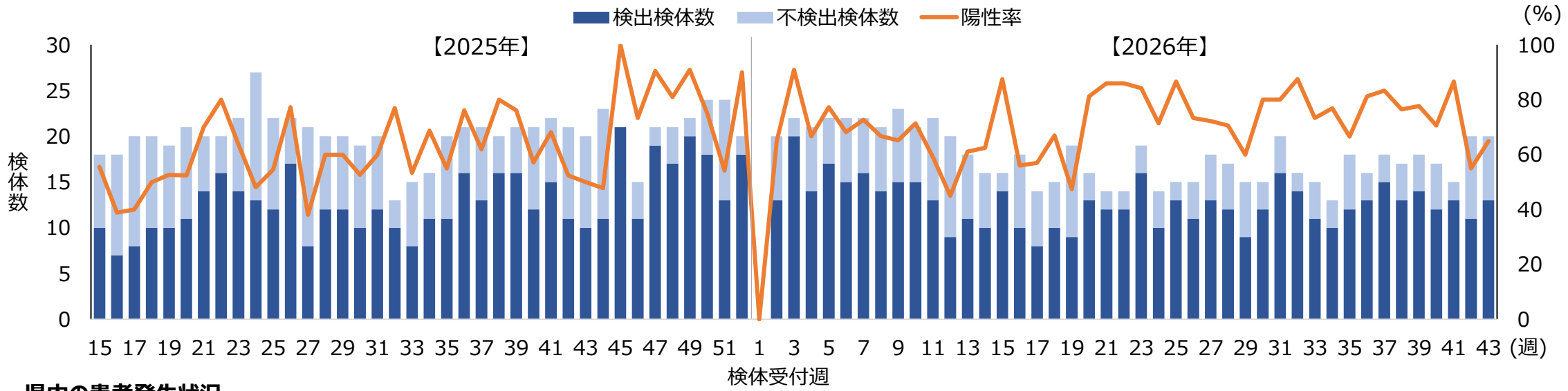
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）　病原体サーベイランス検査結果　その２

【結果】 ②　病原体検出率　（2025年第15週～2026年第43週）

2026年第43週は、20検体の検査を実施し、13検体からウイルス※が検出されました（検出率：65.0%）。

※　国立感染症研究所が指定した７種類のウイルスに対するリアルタイムPCRを実施
インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、パラインフルエンザウイルス、ライノウイルス/エンテロウイルス、アデノウイルス

「不検出検体数」は、上記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上しています。



県内の患者発生状況

県内の患者発生状況は、「患者発生状況」をご覧ください。

全国のARI発生状況

全国の発生状況については、「急性呼吸器感染症（ARI）（外部リンク）」をご覧ください。

更新日：2026年11月4日